

学年:	2年生	Stage:	Stage II	コード:	L2404	単位:	3.3
モジュール名	微生物学			科目担当責任者	浜田 信城		
モジュール名(英字)	Microbiology			コース名	LOM 生命科学口腔病態系		
一般目標(GIO)	歯科領域の感染症について、発症と進展のメカニズムを理解するとともに臨床における予防、診断、治療に必要な知識および基本手技を習得する。						
ユニット:一般目標	<p>1. 微生物学 感染症(微生物による疾患)を理解するための基礎知識を得ることを目的として、微生物の一般性および感染における病原微生物の役割について理解するとともに、感染防御の手段としての滅菌・消毒および化学療法を理解する。</p> <p>2. 免疫学 感染成立における病原細菌と宿主の相互関係を理解し、それに係わる病原因子や宿主の防御機構の役割について理解する。また、宿主の防御機構の一つである免疫機構のしくみや免疫応答およびアレルギー発現のメカニズムについて理解する。</p> <p>3. 口腔感染症学 歯科領域の感染症について、発症と進展のメカニズムを理解するとともに臨床における予防、診断、治療に必要な知識を習得する</p> <p>4. 微生物学・免疫学演習 歯科領域の感染症と原因菌、発症と進展のメカニズムを理解する目的で臨床における予防、診断、治療に必要な基本手技を習得する。</p>						

教育目標

ディプロマポリシー	DP1-1/1-2/1-3	DP2-1/2-2/2-3	DP3-1/3-2/3-3	カリキュラムポリシー-CP	CP1,CP2,CP3
	a / - / -	a / b / -	a / - / -		
a:学習成果を上げるために特に強く履修することが求められる科目 b:学習成果を上げるために強く履修することが求められる科目 c:学習成果を上げるために履修する科目					
教科書等 記号 / 書名 / 著書など / 発行所・HPアドレスなど					
教 1/ 口腔微生物学 / 浜田信城 他編著 / 学建書院 参 1/ 口腔微生物学・免疫学 / 川端重忠 他編 / 医歯薬出版 参 2/ 戸田新細菌学 / 吉田真一 他編 / 南山堂 参 3/ 微生物学実習提要 / 東京大学医科学研究所学友会 / 丸善					

評価方法

出 欠 席	欠席がある講義は補完講義を受講することを原則とする。講義を欠席した者は速やかに教学部へ欠席届を提出する事。その後、指示に従い手続きをし、補完講義を受講する事。						
モジュール試験(%)	70	客観式試験と記述式で行う(DP1-1, DP2-1, DP3-1)。モジュール試験後、所定の期間にフィードバック講義を行う。					
アクティビティ(%)	30	レポート課題(ノート)評価10%、演習試験20%とする。演習試験は、記述式試験で行う(DP1-1, DP2-1, DP3-1)。					
	アクティビティ詳細 (%)	事前試験	実技評価	レポート	口頭試問	態度評価	その他
				10			20
再試験の評価方法	モジュール試験および演習試験が不十分であった場合は、再試験を行う。						
フィードバックについて	モジュール試験後に、フィードバック講義を実施します。						
アクティブラーニング	該当						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_001_6/1_1	2026/06/01	1		講義	31番教室	60
ユニット	微生物学					
サブユニット	微生物学の成り立ちと人間生活への関わり					
授業目標	1) 微生物学の意義と歴史について理解する。 2) 生物界における微生物の位置について理解する。					
キーワード	歴史、種類(細菌・ウイルス・真菌・原虫)と病原微生物、新興感染症、再興感染症					
担当	浜田 信城					
学修範囲(事前事後学修)	教科書 p2~14 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-4-1-1					
国試出題基準(令和5年)	必修4-1-a,必修6-7-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_002_6/1_2	2026/06/01	2		講義	31番教室	60
ユニット	微生物学					
サブユニット	細菌の構造と染色法					
授業目標	1) 細菌の構造と形態について理解する。					
キーワード	細胞壁、莢膜、芽胞、核酸、リボソーム、線毛、鞭毛とグラム染色					
担当	浜田 信城					
学修範囲(事前事後学修)	教科書 p16~28 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-4-1-1					
国試出題基準(令和5年)	必修4-1-a,必修6-7-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_003_6/1_3	2026/06/01	3		講義	31番教室	60
ユニット	微生物学					
サブユニット	細菌の増殖・代謝・遺伝					
授業目標	1) 細菌の増殖・代謝(発酵・腐敗)について理解する。 2) 細菌の遺伝と分子生物学について理解する。					
キーワード	エネルギー代謝(発酵・腐敗)、遺伝子の伝達(プラスミド)					
担当	浜田 信城					
学修範囲(事前事後学修)	教科書 p29~46 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-4-1-1					
国試出題基準(令和5年)	必修4-1-a,必修6-7-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_004_6/1_4	2026/06/01	4		講義	31番教室	60
ユニット	微生物学					
サブユニット	感染の成立、正常細菌叢					
授業目標	1) 感染と感染経路について理解する。 2) 正常細菌叢について理解する。					
キーワード	感染、発症、感染経路、細菌の病原因子、正常細菌叢					

担 当	浜田 信城
学修範囲(事前事後学修)	教科書 p48~61 事後学修 講義内容
コアカリ(令和4年)	A-4-1-2,A-4-1-5
国試出題基準(令和5年)	必修4-イ-b,総論Ⅱ-2-ア-a,総論Ⅱ-2-ア-b

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_005_6/5_1	2026/06/05	1		講義	31番教室	60
ユニット	微生物学					
サブユニット	感染、免疫、免疫系組織					
授業目標	1) 生体の防御機構について理解する。					
キーワード	自然免疫、日和見感染、院内感染、菌交代症、病巣感染、食中毒、新興感染症、再興感染症					
担 当	浜田 信城					
学修範囲(事前事後学修)	教科書 p61~74 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-4-1-4,A-4-2-1,A-4-2-2					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-g,必修4-イ-b,総論Ⅱ-2-ア-a,総論Ⅱ-2-ア-b,総論Ⅱ-3-ア					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_006_6/5_2	2026/06/05	2		講義	31番教室	60
ユニット	微生物学					
サブユニット	微生物学各論					
授業目標	1) グラム陽性球菌、グラム陰性球菌、グラム陽性有芽胞桿菌およびグラム陽性無芽胞桿菌の病原性を理解する。					
キーワード	スタフィロкокカス属、ストレプトкокカス属、ナイセリア属、グラム陽性有芽胞桿菌、グラム陽性無芽胞桿菌					
担 当	浜田 信城					
学修範囲(事前事後学修)	教科書 p76~100 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-4-1-2,A-4-1-3					
国試出題基準(令和5年)	必修4-イ-a,必修4-イ-b,必修6-ア-e,総論Ⅱ-2-ア-a,総論Ⅱ-2-ア-b,総論Ⅲ-1-キ-a,総論Ⅲ-1-キ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_007_6/5_3	2026/06/05	3		講義	31番教室	60
ユニット	微生物学					
サブユニット	微生物学各論					
授業目標	1) グラム陰性桿菌およびグラム陰性微好気性らせん菌の病原性を理解する。 2) キャンピロバクター、ヘリコバクター、スピロヘータ、マイコプラズマ、リケッチアおよびクラミジアの病原性を理解する。					
キーワード	好気性グラム陰性桿菌、通性嫌気性グラム陰性桿菌、嫌気性グラム陰性桿菌、キャンピロバクター、ヘリコバクター、スピロヘータ、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジア					
担 当	浜田 信城					
学修範囲(事前事後学修)	教科書 p101~140 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-4-1-2,A-4-1-3					
国試出題基準(令和5年)	必修4-イ-a,必修4-イ-b,必修6-ア-e,総論Ⅱ-2-ア-a,総論Ⅱ-2-ア-b,総論Ⅲ-1-キ-a,総論Ⅲ-1-キ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
-------	-----	----	---	------	----	-----------

L2404_008_6/5_4	2026/06/05	4		講義	31番教室	60
ユニット	微生物学					
サブユニット	ウイルスの構造、感染					
授業目標	1) ウイルスの構造を理解する。 2) ウイルスの特有な基本性状と感染を理解する。					
キーワード	粒子、偏性細胞内寄生性、複製、種類、増殖、ウイルスの感染					
担当	浜田 信城					
学修範囲(事前事後学修)	教科書 p141~157 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-4-1-1,A-4-1-2					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅲ-1-キ-a,総論Ⅲ-1-キ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_009_6/8_1	2026/06/08	1		講義	31番教室	60
ユニット	微生物学					
サブユニット	ウイルスの構造、感染					
授業目標	1) ウイルス感染症に関わるウイルスの病原性を理解する。					
キーワード	DNAウイルス(ヒトヘルペスウイルス8種、ヒトパピローマウイルス)とRNAウイルス(インフルエンザウイルス、肝炎ウイルス、レトロウイルス(2種))					
担当	浜田 信城					
学修範囲(事前事後学修)	教科書 p157~190 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-4-1-2,A-4-1-3					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅲ-1-キ-a,総論Ⅲ-1-キ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_010_6/8_2	2026/06/08	2		講義	31番教室	60
ユニット	微生物学					
サブユニット	真菌、原虫					
授業目標	1) 真菌症と原虫感染症の原因菌および病原性を理解する。					
キーワード	真菌(カンジダ症、ニューモシスチス肺炎)、原虫(赤痢アメーバ、マラリア原虫、トキソプラズマ)					
担当	浜田 信城					
学修範囲(事前事後学修)	教科書 p191~208 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-4-1-1,A-4-1-2,A-4-1-3					
国試出題基準(令和5年)	必修4-イ-a,必修4-イ-b,必修6-ア-e,総論Ⅱ-2-ア-a,総論Ⅱ-2-ア-b,総論Ⅲ-1-キ-a,総論Ⅲ-1-キ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_011_6/8_3	2026/06/08	3		演習	31番教室	60
ユニット	微生物学・免疫学演習					
サブユニット	グラム染色					
授業目標	1) グラム染色法と芽胞染色法により、細菌の形態観察を行う。					
キーワード	細菌の種類、グラム染色、芽胞染色					
担当	稲葉 啓太郎					
学修範囲(事前事後学修)	実習書					
コアカリ(令和4年)	A-4-1-1					

国試出題基準(令和5年)	必修4-1-a,必修6-7-e
--------------	-----------------

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_012_6/8_4	2026/06/08	4		演習	31番教室	60
ユニット	微生物学・免疫学演習					
サブユニット	グラム染色					
授業目標	1) グラム染色法と芽胞染色法により、細菌の形態観察を行う。					
キーワード	細菌の種類、グラム染色、芽胞染色					
担当	稲葉 啓太郎					
学修範囲(事前事後学修)	実習書					
コアカリ(令和4年)	A-4-1-1					
国試出題基準(令和5年)	必修4-1-a,必修6-7-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_013_6/12_1	2026/06/12	1		講義	31番教室	60
ユニット	微生物学					
サブユニット	滅菌と消毒					
授業目標	1) 滅菌と消毒の原理および物理的・科学的滅菌法と消毒薬の有効範囲を理解する。					
キーワード	物理的・科学的滅菌法と消毒薬の有効範囲					
担当	浜田 信城					
学修範囲(事前事後学修)	教科書 p370~382 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-4-1-8,A-4-1-9					
国試出題基準(令和5年)	必修2-キ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_014_6/12_2	2026/06/12	2		講義	31番教室	60
ユニット	微生物学					
サブユニット	化学療法					
授業目標	1) 化学療法; 抗生物質の定義、作用機序、耐性機構、副作用などについて理解する。					
キーワード	作用機序、薬物耐性、副作用					
担当	浜田 信城					
学修範囲(事前事後学修)	教科書 p383~417 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-4-1-6,A-4-1-7					
国試出題基準(令和5年)	必修2-キ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_015_6/12_3	2026/06/12	3		演習	31番教室	60
ユニット	微生物学・免疫学演習					
サブユニット	薬剤感受性					
授業目標	1) 細菌の種類と薬剤について理解する。					
キーワード	薬剤感受性試験					
担当	遠山 歳三, 藤岡 隼					
学修範囲(事前事後学修)	実習書					

コアカリ(令和4年)	A-4-1-8,A-4-1-9
国試出題基準(令和5年)	必修2-キ-a

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404.016_6/12_4	2026/06/12	4		演習	31番教室	60
ユニット	微生物学・免疫学演習					
サブユニット	滅菌と消毒					
授業目標	1) 適正な滅菌法について理解する。 2) 適正な消毒法について理解する。					
キーワード	滅菌法、消毒法					
担当	古谷田 泰徳					
学修範囲(事前事後学修)	実習書					
コアカリ(令和4年)	A-4-1-6,A-4-1-7					
国試出題基準(令和5年)	必修2-キ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404.017_6/15_1	2026/06/15	1		講義	31番教室	60
ユニット	免疫学					
サブユニット	自然免疫と獲得免疫					
授業目標	1) 自然免疫と獲得免疫の違いについて理解する。 2) 免疫担当細胞の種類と働きについて理解する。					
キーワード	自然免疫、獲得免疫、能動免疫、受動免疫、免疫系組織					
担当	稲葉 啓太郎					
学修範囲(事前事後学修)	教科書 p210~218 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-4-2-1,A-4-2-2,A-4-2-3					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-g,総論Ⅱ-3-7,総論Ⅱ-3-イ-a,総論Ⅱ-3-イ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404.018_6/15_2	2026/06/15	2		講義	31番教室	60
ユニット	免疫学					
サブユニット	自然免疫と免疫担当細胞					
授業目標	1) 免疫担当細胞の種類と働きについて理解する。 2) サイトカインの種類と働きについて理解する。					
キーワード	免疫担当細胞、サイトカイン					
担当	稲葉 啓太郎					
学修範囲(事前事後学修)	教科書 p218~221 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-4-2-1,A-4-2-2,A-4-2-3					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-g,総論Ⅱ-3-7,総論Ⅱ-3-イ-a,総論Ⅱ-3-イ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404.019_6/15_3	2026/06/15	3		講義	31番教室	60
ユニット	免疫学					
サブユニット	主要組織適合遺伝子複合体と抗原提示					

授業目標	1) 抗原、抗原提示ならびに主要組織適合抗原の役割について理解する。
キーワード	補体、パターン認識レセプター、主要組織適合抗原
担当	稲葉 啓太郎
学修範囲(事前事後学修)	教科書 p222~231 事後学修 講義内容
コアカリ(令和4年)	A-4-2-2,A-4-2-3
国試出題基準(令和5年)	必修4-7-g,総論Ⅱ-3-ウ,総論Ⅱ-3-Ⅰ-a,総論Ⅱ-3-Ⅰ-b

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_020_6/15_4	2026/06/15	4		講義	31番教室	60
ユニット	免疫学					
サブユニット	体液性免疫					
授業目標	1) 体液性免疫について理解する。					
キーワード	体液性免疫					
担当	稲葉 啓太郎					
学修範囲(事前事後学修)	教科書 p232~238 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-4-2-2,A-4-2-3					
国試出題基準(令和5年)	必修4-7-g,総論Ⅱ-3-オ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_021_6/19_1	2026/06/19	1		講義	31番教室	60
ユニット	免疫学					
サブユニット	体液性免疫					
授業目標	1) 免疫グロブリンについて理解する。					
キーワード	免疫グロブリン(抗体)					
担当	稲葉 啓太郎					
学修範囲(事前事後学修)	教科書 p238~240 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-4-2-2,A-4-2-3					
国試出題基準(令和5年)	必修4-7-g,総論Ⅱ-3-オ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_022_6/19_2	2026/06/19	2		講義	31番教室	60
ユニット	免疫学					
サブユニット	抗原抗体反応					
授業目標	1) 抗原抗体反応とその応用(免疫学的診断)について理解する。					
キーワード	抗原抗体反応、沈降反応、凝集反応、補体結合反応、標識抗体法ウェスタンブロット法、モノクローナル抗体					
担当	稲葉 啓太郎					
学修範囲(事前事後学修)	教科書 p241~244 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-4-2-2,A-4-2-3					
国試出題基準(令和5年)	必修4-7-g,総論Ⅱ-3-オ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
-------	-----	----	---	------	----	-----------

L2404_023_6/19_3	2026/06/19	3		演習	31番教室	60
ユニット	微生物学・免疫学演習					
サブユニット	免疫反応					
授業目標	1) 凝集反応、ゲル内沈降反応、補体結合反応を行い、各反応について説明する。					
キーワード	凝集反応、ゲル内沈降反応、補体結合反応					
担当	稲葉 啓太郎					
学修範囲(事前事後学修)	実習書					
コアカリ(令和4年)	A-4-2-2,A-4-2-3					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅱ-3-オ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_024_6/19_4	2026/06/19	4		演習	31番教室	60
ユニット	微生物学・免疫学演習					
サブユニット	免疫反応					
授業目標	1) 凝集反応、ゲル内沈降反応、補体結合反応を行い、各反応について説明する。					
キーワード	凝集反応、ゲル内沈降反応、補体結合反応					
担当	稲葉 啓太郎					
学修範囲(事前事後学修)	実習書					
コアカリ(令和4年)	A-4-2-2,A-4-2-3					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅱ-3-オ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_025_6/22_1	2026/06/22	1		講義	31番教室	60
ユニット	免疫学					
サブユニット	T細胞の分化・成熟					
授業目標	1) T細胞の分化・成熟過程について理解する。					
キーワード	細胞性免疫、T細胞					
担当	稲葉 啓太郎					
学修範囲(事前事後学修)	教科書 p245~251 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-4-2-2					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-g,総論Ⅱ-3-オ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_026_6/22_2	2026/06/22	2		講義	31番教室	60
ユニット	免疫学					
サブユニット	細胞性免疫					
授業目標	1) 細胞性免疫の特徴について理解する。 2) 粘膜免疫について理解する。					
キーワード	ウイルスの感染防御、移植と拒絶反応、粘膜免疫					
担当	稲葉 啓太郎					
学修範囲(事前事後学修)	教科書 p252~261 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-4-2-2					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-g,総論Ⅱ-3-オ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_027_6/22_3	2026/06/22	3		講義	31番教室	60
ユニット	免疫学					
サブユニット	免疫の異常					
授業目標	1) 免疫不全について理解する。					
キーワード	免疫不全、後天性免疫不全症候群(AIDS)					
担当	稲葉 啓太郎					
学修範囲(事前事後学修)	教科書 p262~265 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-4-2-4					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-g,総論Ⅱ-3-オ-a,総論Ⅱ-3-オ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_028_6/22_4	2026/06/22	4		講義	31番教室	60
ユニット	免疫学					
サブユニット	免疫の異常					
授業目標	1) アレルギーについて理解する。					
キーワード	アレルギー(I~IV型)					
担当	稲葉 啓太郎					
学修範囲(事前事後学修)	教科書 p265~271 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-4-2-5,A-4-2-6					
国試出題基準(令和5年)	必修6-ア-f,総論Ⅲ-1-ク-a,総論Ⅲ-1-ク-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_029_6/26_1	2026/06/26	1		講義	31番教室	60
ユニット	免疫学					
サブユニット	免疫の異常					
授業目標	1) 自己免疫疾患について理解する。 2) 口腔領域のアレルギーと免疫疾患について理解する。					
キーワード	自己免疫疾患、口腔領域のアレルギー					
担当	稲葉 啓太郎					
学修範囲(事前事後学修)	教科書 p271~275 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-4-2-6,A-4-2-7					
国試出題基準(令和5年)	必修6-ア-f,総論Ⅲ-1-ク-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_030_6/26_2	2026/06/26	2		講義	31番教室	60
ユニット	免疫学					
サブユニット	ワクチン、加齢による免疫応答の変化					
授業目標	1) ワクチンについて理解する。 2) 加齢による免疫応答の変化について理解する。					
キーワード	ワクチン、予防接種					
担当	稲葉 啓太郎					

学修範囲(事前事後学修)	教科書 p276~280 事後学修 講義内容
コアカリ(令和4年)	A-4-2-6,A-4-2-7
国試出題基準(令和5年)	必修6-7-f,総論Ⅲ-1-7-b

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_031_6/26_3	2026/06/26	3		講義	31番教室	60
ユニット	口腔感染症学					
サブユニット	口腔環境と微生物					
授業目標	1) 口腔環境と口腔フローラの生態系について理解する。					
キーワード	口腔環境、口腔フローラ					
担当	浜田 信城					
学修範囲(事前事後学修)	教科書 p281~288 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-4-1-5					
国試出題基準(令和5年)	必修4-1-b,必修4-1-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_032_6/26_4	2026/06/26	4		講義	31番教室	60
ユニット	口腔感染症学					
サブユニット	口腔環境と微生物					
授業目標	1) 歯垢および歯垢形成機序について理解し、歯石および口臭と口腔細菌の関わりについて説明する。					
キーワード	歯垢、歯石、口臭					
担当	浜田 信城					
学修範囲(事前事後学修)	教科書 p289~299 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-4-1-2,A-4-1-5					
国試出題基準(令和5年)	必修4-1-c,総論Ⅱ-2-1-a,総論Ⅱ-2-1-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_033_6/29_1	2026/06/29	1		講義	31番教室	60
ユニット	口腔感染症学					
サブユニット	口腔環境と微生物					
授業目標	1) 口腔常在微生物の性状について説明する。					
キーワード	口腔常在微生物					
担当	浜田 信城					
学修範囲(事前事後学修)	教科書 p300~318 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-4-1-5					
国試出題基準(令和5年)	必修4-1-b,総論Ⅱ-2-7-b,総論Ⅱ-2-1-a,総論Ⅱ-2-1-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_034_6/29_2限	2026/06/29	2		講義	31番教室	60
ユニット	口腔感染症学					

サブユニット	口腔感染症
授業目標	1) う蝕の定義・病因・歴史ならびに硬組織の種類によるう蝕原性細菌の違いと性状について説明する。
キーワード	う蝕、う蝕原性細菌、病原性状
担当	浜田 信城
学修範囲(事前事後学修)	教科書 p319~331 事後学修 講義内容
コアカリ(令和4年)	A-4-1-2,A-4-1-3
国試出題基準(令和5年)	必修6-ア-e,各論Ⅱ-1-ア-a,各論Ⅱ-1-ア-b

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_035.6/29_3限	2026/06/29	3		講義	31番教室	60
ユニット	口腔感染症学					
サブユニット	う蝕					
授業目標	1) う蝕予防およびう蝕続発性疾患について説明する。					
キーワード	う蝕予防、う蝕続発性疾患					
担当	浜田 信城					
学修範囲(事前事後学修)	教科書 p332~335 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-4-1-2,A-4-1-3					
国試出題基準(令和5年)	必修6-ア-e,各論Ⅱ-1-イ-a,各論Ⅱ-2-ア-a,各論Ⅱ-2-ア-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_036.6/29_4限	2026/06/29	4		講義	31番教室	60
ユニット	口腔感染症学					
サブユニット	歯周病					
授業目標	1) 歯周病の病型と病理機序について説明する。					
キーワード	歯周病					
担当	浜田 信城					
学修範囲(事前事後学修)	教科書 p336~338 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-4-1-2,A-4-1-3					
国試出題基準(令和5年)	必修6-ア-e,各論Ⅱ-3-ア-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_037.7/3_1限	2026/07/03	1		講義	31番教室	60
ユニット	口腔感染症学					
サブユニット	歯周病原因子					
授業目標	1) 歯周病原細菌の病原因子および性状について説明する。 2) 歯周炎における宿主の免疫応答について説明する。					
キーワード	歯周病の病型と病理機序、歯周病原細菌、病原性状、歯周病における宿主の免疫応答					
担当	浜田 信城					
学修範囲(事前事後学修)	教科書 p338~346 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-4-1-2,A-4-1-3					
国試出題基準(令和5年)	必修6-ア-f,各論Ⅱ-3-ア-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_038_7/3_2限	2026/07/03	2		講義	31番教室	60
ユニット	口腔感染症学					
サブユニット	歯周病の診断					
授業目標	1) 歯周病の病因検査と診断について説明する。					
キーワード	歯周病の病因検査					
担当	浜田 信城					
学修範囲(事前事後学修)	教科書 p346~350 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-4-1-2,A-4-1-3					
国試出題基準(令和5年)	必修6-7-e,各論Ⅱ-3-7-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_039_7/3_3限	2026/07/03	3		演習	31番教室	60
ユニット	微生物学・免疫学演習					
サブユニット	口腔内細菌の観察					
授業目標	1) 齶蝕原性菌と歯周病原性菌の形態観察ができ、また歯周病原性菌のトリプシン様酵素について説明する。					
キーワード	う蝕原性、歯周病原性、トリプシン様酵素					
担当	川上 絢子					
学修範囲(事前事後学修)	実習書					
コアカリ(令和4年)	A-4-1-1,A-4-1-2,A-4-1-3					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-3-7-b,各論Ⅱ-1-7-a,各論Ⅱ-1-7-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_040_7/3_4限	2026/07/03	4		演習	31番教室	60
ユニット	微生物学・免疫学演習					
サブユニット	口腔内細菌の観察					
授業目標	1) 齶蝕原性菌と歯周病原性菌の形態観察ができ、また歯周病原性菌のトリプシン様酵素について説明する。 2) 齶蝕原性菌の付着機序について説明する。					
キーワード	う蝕原性、歯周病原性、トリプシン様酵素、付着性試験					
担当	川上 絢子					
学修範囲(事前事後学修)	実習書					
コアカリ(令和4年)	A-4-1-1,A-4-1-2,A-4-1-3					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-3-7-b,各論Ⅱ-1-7-a,各論Ⅱ-1-7-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_041_7/6_1限	2026/07/06	1		講義	31番教室	60
ユニット	口腔感染症学					
サブユニット	顎顔面領域の感染症					
授業目標	1) 口腔内の化膿性炎、特異性炎、ウイルス感染や病巣感染について説明する。					
キーワード	化膿性炎、特異性炎、ウイルス感染					
担当	浜田 信城					
学修範囲(事前事後学修)	教科書 p351~359 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-4-1-2,A-4-1-3					

国試出題基準(令和5年)	必修6-7-e,総論Ⅲ-1-キ-a,総論Ⅲ-1-キ-b
--------------	-----------------------------

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_042_7/6_2限	2026/07/06	2		講義	31番教室	60
ユニット	口腔感染症学					
サブユニット	口腔と全身疾患					
授業目標	1) 口腔と全身疾患について説明する。 2) 口腔の感染防御機構について説明する。					
キーワード	口腔微生物叢、内因感染、粘膜、唾液、菌肉溝滲出液					
担当	浜田 信城					
学修範囲(事前事後学修)	教科書 p360~368 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-4-1-2,A-4-1-3,A-4-2-1,A-4-2-2					
国試出題基準(令和5年)	必修6-7-e,総論Ⅲ-1-キ-a,総論Ⅲ-1-キ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_043_7/6_3限	2026/07/06	3		演習	31番教室	60
ユニット	微生物学・免疫学演習					
サブユニット	付着性試験					
授業目標	1) 齶蝕原性菌の付着機序について説明する。					
キーワード	付着性試験、PCR法、位相差顕微鏡観察					
担当	川上 絢子					
学修範囲(事前事後学修)	実習書					
コアカリ(令和4年)	A-4-1-2,A-4-1-3					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-3-ア-b,各論Ⅱ-1-ア-a,各論Ⅱ-1-ア-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_044_7/6_4限	2026/07/06	4		演習	31番教室	60
ユニット	微生物学・免疫学演習					
サブユニット	歯垢細菌の検出(PCR法、位相差顕微鏡)					
授業目標	1) 歯垢細菌をPCR法による遺伝学的解析法と位相差顕微鏡観察により評価する。					
キーワード	PCR法、位相差顕微鏡観察					
担当	川上 絢子					
学修範囲(事前事後学修)	実習書					
コアカリ(令和4年)	A-4-1-2,A-4-1-3					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅱ-3-ア-b,各論Ⅱ-1-ア-a,各論Ⅱ-1-ア-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_045_7/10_1限	2026/07/10	1		講義	31番教室	60
ユニット	微生物学 免疫学 口腔感染症学					
サブユニット	問題演習					
授業目標	1) 問題演習を通じて、微生物学、免疫学、口腔感染症学の重要事項を系統的に説明する。					
キーワード						
担当	浜田 信城					

学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書、配付資料 事後学修 講義内容
コアカリ(令和4年)	A-4-1-1,A-4-1-2,A-4-1-3,A-4-1-4,A-4-1-5,A-4-1-6,A-4-1-7,A-4-1-8,A-4-1-9,A-4-2-1,A-4-2-2,A-4-2-3,A-4-2-4,A-4-2-5,A-4-2-6,A-4-2-7
国試出題基準(令和5年)	必修2-キ-a,必修2-キ-c,必修4-ア-g,必修4-イ-a,必修4-イ-b,必修4-イ-c,必修6-ア-e,必修6-ア-f,総論Ⅱ-2-ア-a,総論Ⅱ-2-ア-b,総論Ⅲ-1-キ-a,総論Ⅲ-1-キ-b,総論Ⅱ-3-ア,総論Ⅱ-3-イ-a,総論Ⅱ-3-イ-b,総論Ⅱ-3-ウ,総論Ⅱ-3-エ-a,総論Ⅱ-3-エ-b,総論Ⅱ-3-オ-a,総論Ⅱ-3-オ-b,総論Ⅲ-1-ク-a,総論Ⅲ-1-ク-b,総論Ⅲ-1-ク-c,総論Ⅲ-1-ク-d,総論Ⅱ-2-イ-a,総論Ⅱ-2-イ-b,各論Ⅱ-3-ア-b,各論Ⅱ-1-ア-a,各論Ⅱ-1-ア-b

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_046_7/10_2限	2026/07/10	2		講義	31番教室	60
ユニット	微生物学 免疫学 口腔感染症学					
サブユニット	問題演習					
授業目標	1) 問題演習を通じて、微生物学、免疫学、口腔感染症学の重要事項を系統的に説明する。					
キーワード						
担当	浜田 信城					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書、配付資料 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-4-1-1,A-4-1-2,A-4-1-3,A-4-1-4,A-4-1-5,A-4-1-6,A-4-1-7,A-4-1-8,A-4-1-9,A-4-2-1,A-4-2-2,A-4-2-3,A-4-2-4,A-4-2-5,A-4-2-6,A-4-2-7					
国試出題基準(令和5年)	必修2-キ-a,必修2-キ-c,必修4-ア-g,必修4-イ-a,必修4-イ-b,必修4-イ-c,必修6-ア-e,必修6-ア-f,総論Ⅱ-2-ア-a,総論Ⅱ-2-ア-b,総論Ⅲ-1-キ-a,総論Ⅲ-1-キ-b,総論Ⅱ-3-ア,総論Ⅱ-3-イ-a,総論Ⅱ-3-イ-b,総論Ⅱ-3-ウ,総論Ⅱ-3-エ-a,総論Ⅱ-3-エ-b,総論Ⅱ-3-オ-a,総論Ⅱ-3-オ-b,総論Ⅲ-1-ク-a,総論Ⅲ-1-ク-b,総論Ⅲ-1-ク-c,総論Ⅲ-1-ク-d,総論Ⅱ-2-イ-a,総論Ⅱ-2-イ-b,各論Ⅱ-3-ア-b,各論Ⅱ-1-ア-a,各論Ⅱ-1-ア-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_047_7/10_3限	2026/07/10	3		演習	31番教室,21番教室,26番教室	60
ユニット	微生物学・免疫学演習					
サブユニット	まとめ					
授業目標	1) 演習(実習)試験を通じて、微生物学・免疫学実習で行った内容を理解し説明する。					
キーワード						
担当	浜田 信城,稲葉 啓太郎,川上 絢子					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書、配付資料					
コアカリ(令和4年)	A-4-1-1,A-4-1-2,A-4-1-3,A-4-1-4,A-4-1-5,A-4-1-6,A-4-1-7,A-4-1-8,A-4-1-9,A-4-2-1,A-4-2-2,A-4-2-3,A-4-2-4,A-4-2-5,A-4-2-6,A-4-2-7					
国試出題基準(令和5年)	必修2-キ-a,必修2-キ-c,必修4-イ-a,総論Ⅱ-3-オ-a,各論Ⅱ-3-ア-b,各論Ⅱ-1-ア-a,各論Ⅱ-1-ア-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2404_048_7/10_4限	2026/07/10	4		演習	31番教室,21番教室,26番教室	60
ユニット	微生物学・免疫学演習					
サブユニット	演習(実習)試験					
授業目標	1) 演習(実習)試験を通じて、微生物学・免疫学演習で行った内容を理解し説明する。					
キーワード						
担当	浜田 信城,稲葉 啓太郎,川上 絢子					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書、配付資料 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-4-1-1,A-4-1-2,A-4-1-3,A-4-1-4,A-4-1-5,A-4-1-6,A-4-1-7,A-4-1-8,A-4-1-9,A-4-2-1,A-4-2-2,A-4-2-3,A-4-2-4,A-4-2-5,A-4-2-6,A-4-2-7					
国試出題基準(令和5年)	必修2-キ-a,必修2-キ-c,必修4-イ-a,総論Ⅱ-3-オ-a,各論Ⅱ-3-ア-b,各論Ⅱ-1-ア-a,各論Ⅱ-1-ア-b					